

平成29年9月29日

長寿社会課長 宮崎 高裕

内線 4040

外線 076-225-1415

平成29年度エイジレス章及び社会参加章伝達式について

内閣府では、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る高齢者等（エイジレス・ライフ実践者）や、社会参加活動を行っている高齢者団体を毎年広く紹介しており、平成29年度の紹介事例の対象として決定した個人に「エイジレス章」、団体に対して「社会参加章」が交付されたので、知事より伝達を行う。

- 1 日時 平成29年10月5日（木）11時から
- 2 場所 県庁行政庁舎4階「特別会議室」
- 3 伝達者 知事
- 4 受章者 【個人】^{ふじい}藤井 カツ（宝達志水町）
【団体】^{しちようまちしんわかい}四丁町親和会（小松市）
^{うわだなふくじゆかい}上田名福寿会（かほく市）
- 5 伝達品 「エイジレス章」及び「社会参加章」の書状及び楯
- 6 受章者の活動事例の概要

【個人】

藤井 カツ（宝達志水町）

平成9年頃から、地元地区の集会場で行われている介護予防教室に参加し、手芸等を行う際には教室のリーダーとして活動している。また、山間部の自宅から離れた教室にも毎週参加しており、現在は合計5つの教室に参加している。若い参加者よりも柔軟で機敏な動きをし、参加者の目標となっている。積極的に教室に参加していることで、94歳という高齢にも関わらず、介護認定を受けておらず、日々生き生きと活動している。

【団体】

四丁町親和会（小松市）

子どもたちの登校時には毎朝横断歩道や踏切等の危険箇所で見守りを行っており、冬季には、子どもたちの通学路周辺等の除雪を行う等安全確保のための活動を積極的に行っている。また、町内の墓地・神社等の清掃や、花壇の維持管理も行っており、地域住民から感謝されている。そのほか自宅での閉じこもりを防ぐため、町内会館に将棋や囲碁、麻雀等を行う脳活サロンを立ち上げるなど、地域の連携強化も積極的に行っている。

上田名福寿会（かほく市）

地区に伝わる民謡や踊りを伝承していくため、休眠状態にあった「伝承芸能保存会」を老人クラブが主体となって復活させ、クラブの新年会で、民舞等いくつかの演目を発表している。また、昭和26年、地区小学校の敷地造成作業中の事故で手弁当で参加していた住民2名が亡くなり、命日に小学校が毎年開催する供養祭では、老人クラブ有志が「奉仕の塔」と刻まれた石碑周辺の清掃活動を子どもたちと行い、事故当時の状況を伝えている。

（参考）

全国で、エイジレス・ライフ実践者は55人（うち石川県1人）、社会参加活動を行う高齢者団体は46団体（うち石川県2団体）が選ばれている。

平成29年度エイジレス章及び社会参加章伝達式 次第

日時：平成29年10月5日(木)
11:00～11:30
場所：県庁行政庁舎4階 特別会議室

1 開会

2 書状及び楯伝達

ふじい
藤井 カツ

しちょうまちしんわかい
四丁町親和会

うわだなふくじゅかい
上田名福寿会

3 知事祝辞

4 謝辞

しちょうまちしんわかい
四丁町親和会

会長 さとう 佐藤 しげお 重夫

5 閉会

6 記念撮影